地域運営学校　**小中一貫校八王子市立みなみ野小中学校　学校便り**

うつぬき

令和７年１月３１日号

学校評価結果報告号

在籍児童・生徒数　小学校５６２名　中学校４６７名　合計１０２９名　＜１月３１日現在＞

後期学校評価を終えて

日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。後期学校評価の保護者向けアンケートに対する結果をお知らせします。肯定的なご意見をいただいた部分については今後も継続し、ご指摘をいただいた部分については真摯に受け止め、今後の教育活動の改善に活かしていきます。

【小学校】

全児童数５６２名に回答を依頼し、回答数は３７１名分（回収率６６％）でした。質問項目の半数以上が肯定的な意見として８０％を超えており、おおむね本校の教育活動にご理解とご協力をいただいていることがうかがえます。

なお、「1.あてはまる」「2．ややあてはまる」の合計が８０％を下回った項目への回答は以下のとおりです。

・項目３では、前期より下回る結果となりました。小中一貫の取組がある度毎に、学校便りや学校ＨＰで取り上げ、保護者の皆様に周知していきます。

・項目１２では、市に要望を毎年行い、環境改善を目指しています。今年度は、教室の蛍光灯をＬＥＤに交換したり、水道の改修を行ったりするなど、徐々に整備されています。今後も児童の環境改善に努めてまいります。

・項目１４では、「なかよし教室」の巡回指導教員と連携し、「なかよし教室」での取組を教室でも行うなど支援の充実に取り組んでいます。学校サポーターによる教室での支援を充実させるために、配慮児童の認知特性や苦手意識、心情等を考慮しながら、日々の学習を支援していきます。

・項目１５では、前期より肯定的な結果が出ていますが、毎学期、全教職員対象とした服務研修を行っています。また、毎月、セルフチェックを行い、体罰・不適切な指導を行っていないか自分自身の指導を振り返っています。

・項目１６では、７０％台の肯定意見に留まりました。昨年度と比較すると、算数少人数教員と家庭科専科教員が欠員状態のため、教科担任制のメリットが出しきれていない状況にありますが、学年の連携を密にして児童との関わりを大切にしていきます。

【中学校】

全生徒数４６７名に回答を依頼し、回答数は２４３名分（回収率５２％）でした。質問項目の半数以上が肯定的な意見として８０％を超えており、おおむね本校の教育活動にご理解とご協力をいただいていることがうかがえます。

なお、「1.あてはまる」「2．ややあてはまる」の合計が８０％を下回った項目への回答は以下のとおりです。

・項目９では、「学校の学習活動に対する評価は適切・公平である」という質問に対しては、前期に引き続き、校内研修や諸会議で本校の学習評価に関する課題などを共有して改善を図っています。保護者の皆様からのご意見も参考に、信頼される適正な学習評価に向けて、より一層努めてまいります。

・項目１４では、生徒が落ち着いて生活できるよう教室環境等の配慮を更に進めていきます。特別支援教室「フレンズみなみ野」や別室登校支援「おいでよ」などの活動状況もより多くの保護者の皆様に伝えていきます。

項目番号	質問項目	小学校 肯定的意見の割合 R6後期		小学校 肯定的意見の割合 R6前期	中学校 肯定的意見の割合 R6後期		中学校 肯定的意見の割合 R6前期
1	学校の経営方針（「思いやりがあり、優しい人」に重点を置いて教育活動を進める）を知っている。	84.0%	↑	76.4%	81.9%	↑	73.9%
2	学校は特色ある取組（小・中の円滑な接続・習得目標問題の定着・あいさつ運動など）を行っている。	86.0%	↑	81.4%	84.8%	↑	79.8%
3	みなみ野中学校・みなみ野君田小学校と合同で行う取組（桑都八王子かるた、児童会・生徒会の交流など）について知っている。	72.1%	↓	77.4%	80.8%	↑	71.4%
4	学校は、子供たちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	91.6%	↑	84.3%	87.3%	↑	85.8%
5	学校は、「特別の教科　道徳」を含む教育活動全体を通して、子供たちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。	86.3%	↑	82.4%	83.0%	↑	77.3%
6	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応など、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	80.8%	↑	76.4%	80.8%	↑	74.8%
7	子供の学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	87.8%	↑	81.7%	83.9%	↑	78.8%
8	学校は、授業において、説明、板書、話合い活動、ICT機器（１人１台の学習用端末等を含む）の活用などの工夫に取り組んでいる。	84.9%	↑	82.0%	82.4%	↑	78.3%
9	学校の学習活動に対する評価は適切・公平である。	82.7%	↑	76.8%	71.0%	↑	61.0%
10	学校は、子供たちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、決まりを守ったりする指導を行っている。	85.5%	↑	81.1%	81.5%	↑	77.4%
11	学校が、「はちおうじっ子キャリア・パスポート」などを用いて、子供の生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	87.6%	↑	80.2%	88.8%	↑	84.2%
12	学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	79.3%	↓	79.9%	80.2%	↑	72.0%
13	学校は、保護者に対して、学校便りやホームページなどで適切に情報を提供している。	88.5%	↑	82.1%	87.1%	↑	80.3%
14	学校は、特別支援教育（特別な配慮や支援を必要とする子供に対しての教育）に取り組んでいる。	72.5%	↑	67.0%	75.3%	↑	58.2%
15	学校は、体罰・不適切な指導の根絶に向けて取り組んでいる。	78.5%	↑	75.8%	81.2%	↑	69.0%
16	教科担任制になり、以前より多くの教員との関わりを感じる。（５・６年生のみ実施）	76.9%	↑	68.4%			
	アンケート回収率	66.2%	↑	57.0%	52.0%	↑	43.0%

※表のデータは回答５「どちらともいえない、わからない」を除いた数値となっています。